

NPO 法人パンキャン (PANcreatic Cancer Action Network) ジャパン沖縄支部

膵臓がん患者・家族支援団体 NPO 法人パンキャンジャパンは、米国非営利団体パンキャンの日本支部として 2006 年に設立されました。

パンキャンの 3 つの使命

- ① 早期発見、治癒につながる研究を促進するために研究者・医療者を支援すること
- ② 患者・家族をサポートすること
- ③ 希望をあたえること

【沖縄支部設立経緯】

難治性がんである膵臓がんの患者・家族は、より良い治療の情報を求めていると思われます。特に沖縄県は島嶼県であり、県外への情報収集に時間・コスト・体力を費やし、患者・家族の負担は非常に大きいと考えます。沖縄県内で最新の情報を得られ、患者・家族同士が情報交換の場として交流することができ、少しでも安心した療養生活を送れることを目的として、沖縄県支部を 2018 年 4 月に設立しました。

【沖縄支部役員および構成員】

患者・家族・遺族 沖縄支部会員・・・6 名

支部長・・・1 名

顧問医師・・・3 名

ボランティアスタッフ・・・名 (看護師・薬剤師・栄養士・理学療法士 他)

【今年度活動予定内容】

●電話相談・・・適宜受付

1～3 名/月程度の相談あり：治療・主治医との関係・薬の副作用・最新治療・セカンドオピニオンについて

●固定患者会 (パープルサロン)・・・年 4 回 (1 回/3 か月・土曜日)

場所：会場とオンラインでのハイブリット形式

内容：ミニレクチャー (講師：薬剤師・栄養士・MSW・理学療法士・その他専門家の方々) と茶話会

会報誌の配布：膵臓がんの最新情報・患者会 (患者・家族・医療者) のコラムを掲載

●市民公開講座・・・年 1 回 6 月に開催予定

場所：会場とオンラインでのハイブリット形式

対象者：患者・家族・一般市民・医療者

内容：膵臓がんの最新情報 (治療・検査等)・ACP について

※オンラインでの開催となり、全国から参加をいただいている。情報共有の範囲が広がり、がん診療・治療に関して全国各地の状況を患者・家族は知ることができるようになっている。

